

対話でつなぐ授業 ～自己肯定感を求めて～

岩瀬 竜弥



指導員訪問④ 3年 算数科 「式と計算」 河瀬 恵梨 教諭

「べつべつに、いっしょに」から単元名が「式と計算」へ。分配法則につなげます。「べつべつに考える」方法は子供たちにとって容易です。「まとまりを考える」方法は、図を利用して共通の土台に乗って考えることが大切になります。1組のセットをまとまりにして考える方法に気付き、**多面的な見方ができる**姿があるかどうかです。

河瀬教諭は、小学校時代から学校、友達大好き。外遊びに夢中で、友達と積極的にかかわりました。そして夢は保育士から教師へ。一緒に勉強したり活動したりする仕事に憧れをもちました。河瀬教諭の幼少時代の経験があったからこそ、現在、運動会など行事や1つ1つの授業に力を入れ、子供とともに練り上げる姿が生まれています。

さて、本時では、初めから2つの考え方で解くように指示。図、式を使って600円を引き出させました。初めに**ア**「べつべつにして」32

15 式と計算

まとまりを考えて

1 たくみさんは、お楽しみ会をするので、
1本70円のジュースを 6本、
1こ30円のみかんを 6こ
買いました。
代金は、あわせて何円ですか。

ジュースの代金とみかんの代金を
べつべつに考えると……

ジュースとみかんを
1組にして考えると……

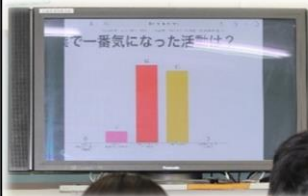
めあて べつべつに考えたり、1組にして考えたりしてみよう。

- C1: $70+30=100$ $100 \times 6 = 600$ 600円
 C2: 同じです(数名)。ちょっと違う!
 T3: この方法**(1)**でやったよっていう人?
 C4: 70円のジュースと30円のみかんをたして100円で、100円が一人分になって一人じゃなくて**6人いる**から $100 \times 6 = 600$ で、全員分の代金は600円になる。
 C5: 70円のジュースと30円のみかんの値段をたして100円で、**6人いる**から 100×6 で、答え600円
 ●T6: $70+30$ は100だよ。ぴったりの100。この100って、今説明してくれたけど何を意味してる?
 C7: 一人分! (多数)
 ●T8: これ(100)って何?【立ち止まり】ちょっと隣と話してみて。
 C9: (隣同士でペア対話へ)
 C10: みかんとジュース一人分の代金。
 T11: 図で表すとどの部分?
 C12: (黒板で100の部分を示す)
 T13: 2つの方法が出ました。名前を付けるよ。
 C14: 合わせる法 **(ア)**
 C15: まとめ法、スマート法 **(1)**
 ●T16: どちらの方法使いたい?
 C17: まとめ法(多数) 授業記録より抜粋

名、**イ**「1組にして」4名が記入。
イの図との出会いに、子供たちは、「あー!」「すごい!」の連発です。C5の説明後に、●T8で一度立ち止まり、100に着目させました。協議

$70 \times 6 = 420$ **ア**
 $30 \times 6 = 180$
 $420 + 180 = 600$
 600円

$70 + 30 = 100$ **イ**
 $100 \times 6 = 600$
 600円



会では、iPadアプリのメンチメータを活用し、この教師の出が有効であったかどうか考えをデータ集約。ちょうど半々に。ペア対話で100の意味に迫れた、逆に問題・図・式を関連付けて繰り返し説明させる中で、「まとまり」を明確にすべき、という意見もありました。私

は、C4、5の「6人いる」から、ジュースとみかんが同じ数であることに着目、「セット」の意味に迫ってはどうかと考えますが、みなさんなら、子供をどう揺さぶりますか?

